

お客様各位

Rupoの住所録をパソコンでご利用いただく為には

対応機種

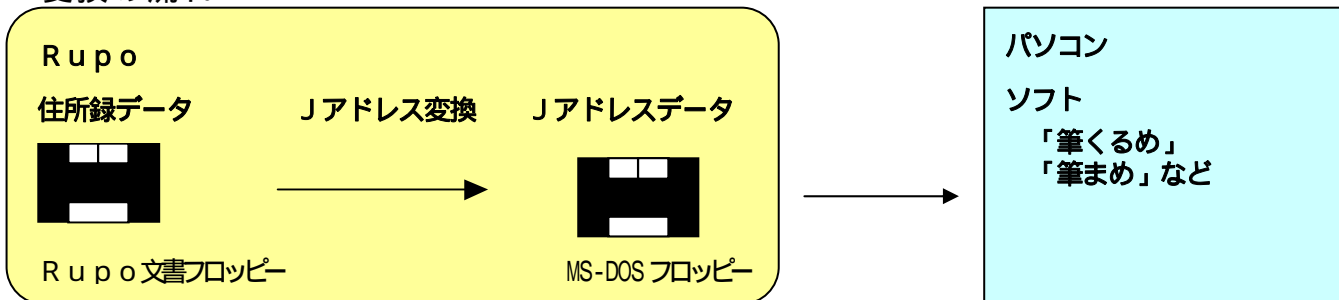
4020・6020・6120・8020・8110・8120・9820・98BW・98BW ・
98BW ・98GX・98GXM・C660・C660MS・F550・F550U・F580・
G7000・V610・V810*1・V850・V850KS・V855・V865・V880・V980

*1 ... 本体付属の「Jアドレス変換システムフロッピー」が必要です。

Rupoの住所録データをJアドレス(標準住所録データ)にする事で、パソコン用はがきソフト(「筆ぐるめ」「筆まめ」など)でご利用いただけるようにします。

Jアドレスは、CSV(文字をカンマ区切りにしたもの)をベースにした文字データで、(財)日本事務機械工業会で標準化されている住所録フォーマット規格です。

変換の流れ



操作手順

お客様のパソコンで使用可能なMS-DOSフロッピーを用意しておきます。

1. Rupoで「住所録」を起動し、**受取人一覧**の画面を表示させます。
2. 用意しておいたMS-DOSフロッピーをRupoに挿入します。
3. 「住所録」の**受取人一覧**の画面で**保存呼出し**を選択します。
4. 「住所録」**保存呼出し**で**Jアドレス保存**を選択します。

「Jアドレスへの保存」
メディア **フロッピー** スマートメディア」

4020、F580、F550、98GXでは、
この画面は表示されません。

と表示されたら、**選択実行**キーを押します。

Jアドレスへの保存
ディレクトリ¥
ファイル名「 1

と表示されたら、全角で4文字以内(半角なら8文字)でファイル名を入力し、続けて、半角で、ピリオドと拡張子「.JAD」を入力します。

入力例 TOSIBA.JAD (半角ピリオド、半角のJ、半角のA、半角のD)

5. **選択実行**キーを押します。

6. 画面下のガイド行に

しばらくお待ちください

と表示された後、

保存中

の数は件数で異なります。

と表示され、全ての が に変化して変換が終了すると、

保存呼出しの受取人の一覧が表示された画面に戻ります。

以上で変換の操作は終了です。

変換したJアドレスデータは、パソコン用のはがきソフト(「筆ぐるめ」「筆まめ」など)で開くことができます。

以上